

認知症対応型共同生活介護 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール（令和4年度）

法人名	社会福祉法人 三光志福社会	事業所名	グループホーム 志深の苑
所在地	姫路市御国野町深志野 1430 番地		

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話あった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	正面玄関掲示板に職員の写真と理念を掲示する。職員個々にいつでも確認出来る様に理念カードも配布している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響で地域との交流行事などはまだまだ再開できていないが、行事の内容や規模も考えながら行事については実施を検討していく。	地域でも子供会のイベントや祭りなどの行事も再開しています。利用者様も少しずつ地域の行事に参加してもらえるように発信していきます。		感染症対策には十分留意されながら、地域との関係性が維持できるように、運営推進会議の機会などを通じて情報共有をされていければ良いと思います。
3	運営推進会議を活かした取組	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	奇数月にご家族様、深志野自治会長、御国野、別所児童民生員、姫路四郷・東地域包括支援センター職員の皆様にご参加頂き、事業所での取り組みや行事報告、職員研修会の報告と資料配布も行う。質疑応答の場も設けている。	コロナ禍の中で様々な制約や行いづらさもあると思います。感染症への危機感が強いなかでも対策を行いながら、ご利用者様のよりよい暮らしを実現されていると会議の内容からも伝わってきます。		

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ④ D. ほとんどできていない	毎月の待機状況の送付を行う。質問事項などあれば電話連絡を行うが直接コンタクトをとることはない。	議事録を送付する際に市町村職員からも意見やコメントをもらえるような書面を添えてはどうか。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	③ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束は行っていない。毎月の身体拘束廃止委員会の実施と年2回、法人全体で高齢者の権利擁護の勉強会にて身体拘束についても行っている。スピーチロックをゼロにする取組として目標を設定し、朝礼後に目標を唱和するなど意識づけとチェックリストによる毎月のチェックも実施する。		③ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	スピーチロックの毎月の取り組みもしっかりとされているので、継続していけると良いと思います。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月の虐待防止委員会の実施と年2回、法人全体で権利擁護の勉強会で虐待についても行う。定期的な不適切な対応もないか振り返りも会議などの場で行う。虐待の芽チェックリストも活用する。		③ A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	委員会活動やチェックリストなど、現在の取り組みを継続していけると良いと思います。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている ③ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会でも成年後見制度の仕組みについても説明を行う。現在、利用されている方はいないが希望や必要性があれば支援を行う。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時にグループホームでのケアの内容や暮らし、料金、重度化および看取りに関する指針についてもしっかりと説明し意向を伺うように努める。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	2か月に1回、お便りを発行し、行事などのご様子をお伝えする。面会時にも最近のご様子やご家族様の質問にも対応している。運営推進会議の場でもご家族や関係者からの要望を伺う。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	しっかりと取り組みができていますので、継続した取り組みをしていかれたらよいと思います。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の面談や毎月の会議で職員の意見を聞き、日頃の業務や運営に反映させるようにしている。日々、コミュニケーションを取り話しやすい関係作りを行う。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人事考課にて自己評価や面談を通じて各職員の目標設定や実現に向けての取り組みなども把握する。有給休暇も毎月、積極的に行い、時間外労働も殆どない。資格取得への資金面での支援も行う。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取組	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	Eラーニングも導入し、法人研修も実施している。新人教育についても平等な指導を受けられるようにプログラム化し実施する。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	研修の取り組みもしっかりされているので継続していきましょう。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響でグループホーム連絡会も実施できず、左記の取り組みはほとんど行っていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	掃除や洗濯干しなど家事も一緒に行っている。以前は食事も一緒に行っていたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、現在は中止している。			感染対策をしながら、できる事を継続していければよいと思います。
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍前は、外泊や馴染みの場所を訪れる事もあったが、今はなかなか行えない状況が続いている。	自治会でもコロナの感染状況を見ながら行事も少しずつ再開している。コロナ禍前と同じように行う事は、まだ難しい状況だが、対策を講じながら出来る事を再開してはどうか。		現状では感染対策の観点から難しいと思いますので、感染症の状況や国・自治体の指針などに沿って取り組みを検討していければよいと思います。

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	サービス開始前に必ず、今までの生活歴や趣味、生活リズムなどご家族などから確認する。聞き取った内容はフェイスシートやアセス			
----	----------	---	---	--	--	--	--

				メントシートに必ず記載する。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族からの希望や本人の希望や意向、日々の言動などをアセスメントシートを活用しながら担当者会議を行い、介護計画書に反映させる。	本人やご家族の思いや要望などをできるだけ多く伺い、ツールや会議を活用しながら具体的に計画書に反省させるように継続してください。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者ごとの生活記録と看護記録を日々、記録している。特記事項は具体的に明記し、朝や昼の申し送り時に申し送りを行う。介護日誌でもさかのぼって確認できるように記録を行う。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の記録等もしっかりされているという事ですので、引き続き申し送り等情報共有に努めていって下さい。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われなない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病気の急性期で入院が難しい場合は、訪問看護と連携しながらグループホームでも療養できる体制を取る。過去、金銭的な負担の相談もあり、負担の少ない施設への入所も支援を行う。	多様なニーズに対応できるように地域や自治体などにどのような社会資源があるか確認していつでも活用できるように準備しておきましょう。		体調面や身体機能の低下、認知症の進行などもあるかと思しますので、多職種の連携を図りながら支援をしていければよいと思います。

20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	深志野自治会やボランティアの方々のご協力により、様々なイベントや交流会を実施する。 ※現在は、新型コロナウイルスの影響にて実施できず。	自治会でも少しずつですが活動や取り組みを行っています。 獅子舞や神輿もコロナが落ち着けば慰問もしたいと思います。 コスモス畑も見に来てください。 今年はともども行います。		自治会の方との協力体制もありますので、コロナの状況が落ち着いたら、地域資源としての行事等への参加も検討していければと思います。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前のかかりつけ医に継続して頂く事は可能であるが、極力共立病院への変更をお願いしている。体調不良時や急変時の連携が取りやすい事や月2回の訪問診療にてしっかりとフォローアップできること、臨時で往診が可能である事などしっかりと説明、納得頂いた上で変更を行っている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院された際は、入院先の地域連携室の担当者や往診担当の看護師からも情報提供や治療期間も確認している。治療経過も電話や訪問にて確認を行う。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、医療機関と情報共有・連携して入退院時等がスムーズに進むようにしていただ下さい。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約時に重度化および看取りに関する指針もしっかりと説明を行う。ご状態により終末期が近づいていると思われる場合は、ご家族、主治医、訪問看護事業所、グループホーム職員で看取りに向けての話し合いと体制づくりを行っている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	胸骨圧迫とAEDの講習会を実施する。Eラーニングも活用しながら緊急時の対応についての勉強も行う。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回、自主防災避難訓練を実施している。9月1日の災害の日には、地震想定での避難訓練も実施した。BCPの策定にあたり災害時の地域との連携や福祉避難所としての機能を果たす為の機能も備えていく。	法人としての自主防災避難訓練はしっかりと行っていますが、地域や自治体と連携した体制作りや訓練の実施にも今後繋げて行ってください。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	接遇委員会を中心に言葉使いや容姿、態度表情などの接遇目標を決め取り組んでいる。クッション言葉を活用するように毎朝、例文を職員で唱和するトレーニングも行う。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	接遇の取り組みもしっかりとされていますので、継続して行ってください。

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	細かな業務スケジュールは決めずに日々、入居者と職員で過ごし方を考えるようにしているが重度化するなかでも利用者が主体となって生活を送る事ができる取り組みをもっと行っていく必要もある。			職員体制もありますので、なかなか個別の関わりが難しいところもありますが、一人ひとりの方のアセスメントと状態変化に伴う支援のあり方などできるところから取り組まればと思います。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方の状態に合わせて食事やおやつ作りなどの準備や調理のお手伝いもして頂く。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食べる事は、生きるだけでなく楽しみにもつながる事ですので、引き続き取り組みを継続していければと思います。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事摂取量の記録や毎月、体重測定も行う。摂取量や体重の減少が見られる方は主治医に相談し、補助飲料の処方と提供も行う。半年に1回、口腔・栄養マネジメントも実施。体重の変動やBMI、アルブミンの数値や食事の摂取状況も評価する。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎食後、歯磨きと義歯の洗浄を行う。必要な方へは職員が介助する。土曜日におかだ歯科往診あり。口腔ケアの実施と口腔ケアに関する指導も歯科衛生士の方から受ける。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	しっかりとした取り組みができていますので、継続して行ってください。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定時の誘導を行っているが、失禁の多い方や便秘の方は誘導する回数も増やし、トイレで自然な排泄が望めるように支援する。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の人数によっての入浴の実施となっている。ご自宅などと同じように、夕食前後などの入浴が行えることが望ましい。			職員の配置による部分はやむを得ないところもありますので、安全に清潔を維持するだけでなく、楽しみにつながる取り組みができる事を期待します。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼食後は、お部屋で休んで頂く時間も作る。夜間もその方のタイミングで休まれる。パジャマへの更衣や明かりの調整も行い、安眠して頂けるような環境を整える。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の説明書を事務所にて各入居者ごとにファイリングし、いつでも確認出来るようにする。往診時に経過報告を行い、必要時に内服薬の調整をお願いする。変更があった場合は介護日誌に品名や効能を記入し申し送る。		A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に取り組まれているようですので、引き続き誤薬等に気をつけて対応を継続して下さい。

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前にご家族より、今までの生活歴や趣味や嗜好品なども聞き取りを行う。利用者が主体となって考えて実践する取り組みなどをもっと行っていく必要あり。	毎回、行事実績報告のスライド写真からもご利用者の嗜好や趣味などを楽しんで頂くという取り組みが行えています。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	以前は、日帰り旅行や喫茶店にでかけるなど外出も頻繁に行っていたが、コロナ禍後は自粛しているが、少人数でのドライブや密にならない場所への外出などを計画、実施していく。	感染症対策を行いながら実施していく事は、とても難しい事だと思えます。地域の行事も無理のないように少しずつ再開しています。できることから少しずつ行っていきましょう。		コロナウイルスの感染状況から、現在の対応はやむを得ないと思えます。感染状況を見ながら、時期を見て可能な事から取り組んで行かれればと思えます。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるようにしたりできるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	金銭管理については基本的にご家族様が行う。行事やイベントの際は、金券を使って買い物を楽しんで頂けるような取り組みを行っている。			金銭管理については利用者の認知機能によるところも大きいと思われしますので、現状の対応を継続していければ良いと思えます。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙をやり取りしたりできるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族やご兄弟からお手紙などをいただく機会もあるが、返すことは出来ていない。お話を伺いながら職員等が代筆しお返すようにしていく。			コロナにより家族等との直接的な交流が減っている分、手紙や電話の需要もあるかと思えますので、できる事から取り組んでいければ良いと思えます。

39	居心地のよい 共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングやキッチンを囲んで各居室が配室されており、居室までの手すりなど動線も確保できている。リビングや玄関の掲示スペースには季節を感じて頂ける様な飾りや壁画も掲示し毎月、更新している。		A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	引き続き、利用者一人ひとりが居心地よく過ごせるような取り組みをしていって下さい。
----	-------------------	--	---	--	--	---	--

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている Ⓑ ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人からの希望や訴えなどは介護記録に記入し、職員で共有している。何うことが難しい場合は、ご家族から入所されるまでの生活歴や人生の歩みなども何うようになっている。			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ ほとんどできていない	ご家族から伺った、生活歴や趣向などをもとに日々の生活の中に取り入れるようになっている。コロナが流行する以前は友人の面会や馴染みの場所への外出も行えていたが現在は実施できていない。			馴染みの関係という面ではコロナ禍でできていないと思いますが、事業所内で、個々の利用者の生活歴に基づく趣向などができている部分については評価してよいと思います。

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input type="radio"/>	健康面についても主治医の協力のもと支援できる体制は整えている。安全面についても入居者個々のリスク等職員もしっかりと把握し対応を行う。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input checked="" type="radio"/>	1日の具体的なスケジュールなどは決めずに入居者個々のペースやリズムで過ごして頂けるように心掛けている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input checked="" type="radio"/>	居室は、ご家族の写真や手紙などを飾る。自宅で使っていた置時計やテレビ、壁画などなじみの物品を置いておられる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input checked="" type="radio"/>	現状の取り組みを継続していければ良いと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input checked="" type="radio"/>	新型コロナウイルスの影響で外出行事等は自粛している。お花見や夏祭り、花火や秋祭りなど季節を感じて頂ける行事は、施設にて実施している。	開催方法など工夫し、感染症対策も行ったうえで季節に応じたお祭りやイベントが行えています。感染症対策を講じながらの実施は大変ですが、できることから行ってみましょう。		現状は外部との交流は感染症の観点から難しい部分も多いですので、今の対応を継続され、状況を見ながらできる取り組みをされていければ良いと思います。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない <input checked="" type="radio"/>	重度化、認知症の進行により利用者が主体となるのが難しい状況ではあるが、出来る事や可能性を見つけて広げていく取り組みを考えていく必要がある。			ご利用者本人の能力を客観的に評価・把握して、今できている事が継続できる・自立につながる支援につながれば良いと思います。

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入居者同士の関係性もよくリビングでよくお話もされる。行事やレクリエーションなどを通じて関係性が更に深められるように支援を行う。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	新型コロナウイルスの影響でイベントや季節行事などを通じての地域交流は、行えていない。利用者も地域の一員としての社会参加を行っていくが課題。	自治会の活動も少しずつ再開しています。コロナが落ち着いたら志深の苑の皆さんと是非、交流ができればと考えています。		高齢者の重症化リスクもあり、現状は感染対策が優先かと思いますが、環境を整えばできる事から地域交流の内容を検討していければ良いと思います。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	施設行事や事業所でのレクリエーションなどは利用者も職員も一緒になって楽しめるように工夫を行う。	行事实績報告の写真を見ると皆さん生き生きとイベントや活動に参加されているのがよく分かります。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	しっかりとした取り組みもされていると思いますので、引き続き、利用者の方が入所してよかったと思われる施設づくりに期待します。